

●経理上手くんα DX Verion 11.301

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 消費税区分の改良について

- 会社登録で科目消費税区分を「登録しない」に変更しても、登録した内容の変更ができなくなるだけで、登録しているものは仕訳入力などで反映する状態となっていました。
- 摘要・枝番・部門消費税区分は、会社登録で消費税区分を「登録しない」に変更すると、登録した内容が変更できないだけでなく、仕訳入力などで反映されませんでした。
- 上記のことから、科目・摘要、枝番・部門のそれぞれで文言及び動作の統一・変更を行いました。

◆ 銀行CSV取込

- 4K（解像度 3840×2180）モニターを縦置きにしたときに、取込内容画面で、レポート下にある【摘要登録（Insert）】【摘要検索（Home）】【転記開始】のボタンが見切れて押せなかったのを修正しました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“財務処理db（VERSION:11.301）の変更点”を参照してください。

⚠注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

財務処理 d b (VERSION:11.301) の変更点

消費税区分の改良について

概要

- ・会社登録で科目消費税区分を「登録しない」に変更しても、登録した内容の変更ができなくなるだけで、登録しているものは仕訳入力などで反映する状態となっていました。
- ・摘要・枝番・部門消費税区分は、会社登録で消費税区分を「登録しない」に変更すると、登録した内容が変更できないだけでなく、仕訳入力などで反映されませんでした。
- ・上記のことから、科目・摘要・枝番・部門のそれぞれで文言及び動作の統一・変更を行いました。
※詳細な対応内容は下記に各業務ごとに記載しております。

改良

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①伝票入力で証憑番号の入力ができるように改良しました。
振替伝票・入金伝票・出金伝票の全ての伝票で入力が可能となっています。
また、元帳検索の伝票形式での修正画面も同様の対応を行っています。
※会社登録で「証憑番号の使用：使用する」に設定している場合に、証憑欄が表示されます。

01 月 01 日	証憑 <input type="text"/>	部門
借 方	摘 要 手形番号 手形期日	変事 付箋
		貸

2) 新規会社登録・修正・削除

- ①下記(1)~(3)の対応を行いました。
- (1)「消費税区分」から「消費税区分集計」に名称を変更しました。
- (2)消費税区分集計から「科目」「摘要」の項目を削除しました。
「科目」「摘要」の項目は、科目設定・残高登録から選択できます。
- (3)消費税区分集計の「枝番」「部門」の項目において、コンボボックスの文言を「登録する／登録しない」から、「行う／行わない」に変更しました。
※動作に変更はありません。

課税方式		原則課税	
経理方式		税込み処理	
税入力方式	売 上	内税方式	
	資 産	内税方式	
	経 費	内税方式	
	仕 入	内税方式	
仕入税額 按分法		個別対応	仕入区分設定
端数処理	売 上	切捨て	平成27年4月1日以後に開始する課税期間から簡易課税制度のみなし仕入率の変更が行われ、金融業及び保険業が第6種事業に、不動産業が第6種事業に変更されました。簡易課税の事業区分の選択には十分注意してください。
	仕 入	切捨て	
消費税区分集計	枝 番	行 う	
	部 門	行わない	
仮受・仮払消費税/枝番		振り付けない	
固定資産売却益/枝番		振り付けない	
元帳表記		通常表記	
課税方式別の税額比較処理		行わない	

②消費税情報タブ「課税方式」を変更しても“修正書込み”を行う前に、変更前の課税方式に戻せば、下記設定の内容を復元するように変更しました。

- ・「原則課税」→「簡易課税」→「原則課税」と変更した時の『仕入税額 按分法』
- ・「簡易課税」→「原則課税」→「簡易課税」と変更した時の『事業区分設定』
- ・「原則課税」→「免税」→「原則課税」と変更した時の『経理方式』『税入力方式』『仕入税額 按分法』
- ・「簡易課税」→「免税」→「簡易課税」と変更した時の『経理方式』『事業区分設定』『税入力方式』

③経理処理情報タブの「枝番入力」「部門入力」の設定を“行わない”から“行う”に変更した場合、仕訳入力の[F4 入力設定]において、下記の設定をチェック ON に変更するように改良しました。

- 「枝番」を“行う”に変更した場合
 - ・「枝番未入力チェック」が ON になります。
 - ・「枝番名称を表示」が ON になります。
 - ・「枝番のコピー」が ON になります。
- 「部門」を“行う”に変更した場合
 - ・「部門番号チェック」が ON になります。

部門 <input checked="" type="checkbox"/> 部門番号チェック <input type="checkbox"/> 部門名称を表示 <input type="checkbox"/> 部門名称を仕訳摘要にセット <input type="checkbox"/> 工事名称を仕訳摘要にセット 部門選択の優先順 <input type="radio"/> 画面番号 <input checked="" type="radio"/> 部門番号 <input type="checkbox"/> 部門未入力チェック <input type="checkbox"/> 完成工事チェック <input type="checkbox"/> 工事番号科目チェック	枝番 <input checked="" type="checkbox"/> 枝番未入力チェック <input checked="" type="checkbox"/> 枝番名称を表示 <input checked="" type="checkbox"/> 枝番のコピー <input type="checkbox"/> 枝番摘要を仕訳摘要にセット <input checked="" type="checkbox"/> 資金繰諸口枝番名称を表示 <input type="checkbox"/> 枝番選択を50音順で表示 摘要枝番 <input type="checkbox"/> 部門摘要枝番を使用する 科目選択画面
---	--

- ④消費税情報タブ「経理方式」を“税抜き処理”に設定した場合、「税入力方式」の初期値を“内税入力”となるように変更しました。

課税方式	簡易課税	事業区分設定
経理方式	税抜き処理	経理処理設定
税入力方式	売上	内税方式
	資産	内税方式
	経費	内税方式
	仕入	内税方式
仕入税額 按分法		
端数処理	売上	切捨て
	仕入	切捨て
消費税区分集計	枝番	行う
	部門	
仮受・仮払消費税/枝番	振り付けない	
固定資産売却益/枝番	振り付けない	
元帳表記	通常表記	
課税方式別の税額比較処理	行わない	

平成27年4月1日以後に開始する課税期間から簡易課税制度のみなし仕入率の変更が行われ、金融業及び保険業が第5種事業に、不動産業が第6種事業に変更されました。簡易課税の事業区分の選択には十分注意してください。

3) 科目設定・残高登録

- ①下記(1)~(4)の対応を行いました。

- (1)科目・枝番・摘要消費税区分登録のチェックボックスの文言を下記のように変更しました。

「科目消費税区分を登録する」 → 「科目消費税区分を設定する」

「枝番消費税区分を登録する」 → 「枝番消費税区分を設定する」

「摘要への消費税区分を登録する」 → 「摘要消費税区分を設定する」

「摘要に自動仕訳の科目を登録する」 → 「摘要に自動仕訳の科目を設定する」

「銀行 CSV 摘要を登録する」 → 「銀行 CSV 摘要を設定する」

- 「科目設定・変更」画面

科目設定	残高登録	分析登録	摘要
科目名称変更 科目設定・変更 科目順変更 出力用特殊名称			
<input checked="" type="checkbox"/> 科目消費税区分を設定する			<input type="checkbox"/> 入力区分一括
番号	属性	科目名称	カナ
1	諸		シヨク

- 「枝番残高登録」画面

科目設定	残高登録	分析登録	摘要登録
科目残高登録 枝番残高登録			
当期	開		
仕入高 1 (0550)		<input checked="" type="checkbox"/> 枝番消費税区分を設定する	
枝番	摘要	枝番名称	カナ
0001	1	1月分	イカ

- 「摘要辞書登録」画面

科目設定	残高登録	分析登録	摘要登録
摘要辞書登録 科目対応摘要登録 仕訳対応摘要登録			
現在登録数 : 298			
<input checked="" type="checkbox"/> 摘要消費税区分を設定する		<input checked="" type="checkbox"/> 摘要に自動仕訳の科目を設定する	
			<input checked="" type="checkbox"/> 銀行CSV摘要を設定する
番号	摘要名称	カナ	銀行CSV摘要
1	1月分	イカ	消費税

(2)「枝番消費税区分を設定する」の動作を下記のように変更しました。

- ・会社登録の消費税区分設定との連動を行わないようにしました。
 ※連動は行いませんが、会社登録の消費税区分設定「枝番：行わない」を選択している場合、「枝番消費税区分を設定する」のチェックボックスは変更できないように制御しています。
 また、「枝番：行わない」の場合、消費税区分の列は表示されません。

科目設定	残高登録	分析登録	摘要登録
------	------	------	------

科目残高登録 枝番残高登録

当期

仕入高 1 (0550) 枝番消費税区分を設定する

枝番	摘要	枝番名称	カナ
0001	1	1月分	イカ ^ナ
0002	2	2月分	ニカ ^ツ

- ・会社登録の消費税区分設定「枝番：行う」の場合は、「枝番消費税区分を設定する」のチェックのON/OFFに関係なく、設定している消費税区分が仕訳入力等に反映するように変更しました。
- ・「枝番消費税区分を設定する：チェックON」の場合、消費税区分の設定ができます。

当期

仕入高 1 (0550) 枝番消費税区分を設定する

枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
0001	1	1月分	イカ ^ナ	課税	基本設定	10%
0002	2	2月分	ニカ ^ツ	課税	基本設定	10%
0003	3	3月分	サカ ^ナ	課税	基本設定	10%

- ・「枝番消費税区分を設定する：チェックOFF」の場合でも、消費税区分の列を表示するように変更しました
 ※消費税区分欄の確認は行えますが、変更はできないように制御をしています。

当期

仕入高 1 (0550) 枝番消費税区分を設定する

枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
0001	1	1月分	イカ ^ナ	課税	基本設定	10%
0002	2	2月分	ニカ ^ツ	課税	基本設定	10%
0003	3	3月分	サカ ^ナ	課税	基本設定	10%

(3)「摘要消費税区分を設定する」の動作を下記のように変更しました。

- ・「摘要消費税区分を設定する」のチェックのON/OFFに関係なく、設定している消費税区分が仕訳入力等に反映するように変更しました。
- ・「摘要消費税区分を設定する：チェックON」の場合、消費税区分の設定ができます。

現在登録数： 298

摘要消費税区分を設定する 摘要に自動仕訳の科目を設定する 銀行CSV

番号	摘要名称	カナ	消費税
1	1月分	イカ ^ナ	課税
2	2月分	ニカ ^ツ	非課税
3	3月分	サカ ^ナ	不課税
4	4月分	シカ ^ツ	経過 - 8%
5	5月分	コカ ^ナ	軽減 - 8%
6	6月分	ロカ ^ナ	標準 - 10%

- ・「摘要消費税区分を設定する：チェックOFF」の場合でも、消費税区分の列を表示するように変更しました。
 ※消費税区分欄の確認は行えますが、変更はできないように制御をしています。

現在登録数： 298		<input type="checkbox"/> 摘要消費税区分を設定する		<input type="checkbox"/> 摘要に自動仕訳の科目を設定する		<input type="checkbox"/> 銀行CSV排	
番号	摘要名称	カナ	消費税				
1	1月分	イカ	課税				
2	2月分	エカ	非課税				
3	3月分	サカ	不課税				
4	4月分	シカ	経過 - 8%				
5	5月分	コカ	軽減 - 8%				
6	6月分	ロカ	標準 - 10%				

(4)「摘要に自動仕訳の科目を設定する：チェック OFF」の場合でも、自動仕訳の科目の列を表示するように変更しました。

※チェック ON の場合は、従来通りの動作となります。

<input type="checkbox"/> 摘要に自動仕訳の科目を設定する		<input type="checkbox"/> 銀行CSV摘要を登録する		
名称	カナ	消費税	借方科目	貸方科目
	イカ		仕入高 1	
	エカ		仕入高 1	
	サカ		仕入高 1	
	シカ			売上高 1
	コカ			売上高 1
	ロカ			売上高 1

②科目設定の科目名称変更タブで、[F6 ICS 標準] を明細科目でも使用できるように改良しました。

[F6 ICS 標準] を押すことで、科目名称・試算表名称・決算書名称を ICS の標準の名称に戻すことができます。

※小分類科目追加・明細科目追加によって追加された科目は使用できません。

③科目設定の科目設定・変更タブで、科目属性を「輸出免税売上」に設定している場合、課税区分を変更できないようにしました。

番号	属性	科目名称	カナ	コード	摘要	課税区分
179		株 予約権	シカアヨ	0440		
180	輸出	新売上高	ウリアタ	0511	4	課税
181	売上	売上高	ウリアタ	0512	4	課税売上高
182	売上	売上高	ウリアタ	0513	4	課税
183	売上	売上高	ウリアタ	0514	4	課税
184	売上	売上高	ウリアタ	0515	4	課税
185	売上	売上高	ウリアタ	0516	4	課税
186	売上	売上高	ウリアタ	0517	4	課税
187	売上	売上高	ウリアタ	0518	4	課税
188	売上	売上高	ウリアタ	0519	4	課税
189	売上	他売上	ウリアタ	0520	4	課税
190	売上	売上戻	ウリアタ	0521	4	課税
191	売上	売上戻	ウリアタ	0522	4	課税

4) 部門設定 (Pro IIのみ)

①下記(1)~(4)の対応を行いました。

(1)「部門消費税区分を登録する」のチェックボックスの文言を「部門消費税区分を設定する」に変更しました。

<input checked="" type="checkbox"/> 部門消費税区分を設定する		
コード	部門名称	仕入区分
1 1		課税売上に係る
2 2		非課税売上に係る
3 3		共通に係る

(2)会社登録の消費税区分集計との連動を行わないようにしました。

※連動は行いませんが、会社登録の消費税区分集計「部門：行わない」を選択している場合、「消費税設定」のボタンを押さないように制御しています。

		消費税設定	詳細設定	集計部門設定
部門	部門名称			
1 1				
2 2				

(3)会社登録の消費税区分集計「部門：行う」の場合は、「部門消費税区分を設定する」のチェックのON/OFFに関係なく、設定している消費税区分が仕訳入力等に反映するように変更しました。

(4)「部門消費税区分を設定する：チェックOFF」の場合でも、消費税区分の列を表示するように変更しました。

※消費税区分欄の確認は行えますが、変更はできないように制御をしています。

部門消費税区分を設定する

コード	部門名称	仕入区分
1 1		課税売上に係る
2 2		非課税売上に係る
3 3		共通に係る

5) 分析表集計科目登録

①従来「当座比率」は、比較経営分析指数表の出力パターン「標準Ⅰ」は有価証券を含んでいないが、経営分析報告書、比較経営分析指数表の出力パターン「標準Ⅱ」は、有価証券を含んでいる計算になっているため、「当座資産」から「有価証券」を除外することができるように対応しました。

変更方法

1.経営分析指数表タブの「当座資産」で[F11 算式展開]を行います。

※「当座資産」は法人・運送業・個人は87行目、建設は82行目にあります。

2.「有価証券」で[F11 集計登録]を行います。

3.初期登録科目の「有価証券」を[Delete 科目削除]で削除します。

以上で「標準Ⅱ」の「当座比率」「当座資産」が「標準Ⅰ」と同じ有価証券を除いた数値に変更できます。

[F7 初期化]で元に戻ります。

II. 出力

1) 資金繰実績・予定表 (DX・ProIIのみ)

①「資金繰科目の明細を表示する」にチェックを付けた時に、明細行の「上昇率」「予定」を入力できるようにしました。

- 明細を表示していることを明確にするため「明細出力」ボタンを「資金繰科目の明細を表示する」に変更し、配置も移動しました。

- 「資金繰科目の明細を表示する」にチェックを付けている場合、明細行の上昇率と金額(予定)が入力できます。

また、合計行の上昇率と金額(予定)も対応前のプログラムと同じように、入力できるようにしています。

項目	上昇率	1年12月	2年1月(予定)	2年2月(予定)	2年3月(予定)	2年4月(予定)	2年5月(予定)
前月繰越高		9,800,000	9,800,000	19,600,000	19,600,000	19,600,000	19,600,000
売上高1		1,100,000	1,000,000				
売上高2		1,200,000	1,000,000				
売上高3		1,300,000	1,000,000				
売上高4		1,400,000	1,000,000				
売上高5		1,500,000	1,000,000				
売上高6		1,600,000	1,000,000				
売上高7		1,700,000	1,000,000				
売上高8		1,800,000	1,000,000				
売上高9		1,900,000	1,000,000				
他売上高		2,000,000	1,000,000				
現金売上			10,000,000				
売掛金回収							
受取手形期日落							

- 「資金繰科目の明細を表示する」にチェックを付け、且つ、明細行に金額(予定)が入力されている場合、合計行は自動で集計されるため、背景色を水色にしています。自動計算になっている項目を実額入力したときは、背景色が緑色になり、実額入力している項目があること、また、背景色が緑色の箇所Deleteキーを押すと、自動集計されることがわかるように、画面内にメッセージを表示しています。

項目	上昇率	1年12月	2年1月(予定)	2年2月(予定)	2年3月(予定)	2年4月(予定)	2年5月(予定)
前月繰越高		9,800,000	9,800,000	19,600,000	21,600,000	21,600,000	21,600,000
売上高1		1,100,000	1,000,000	1,000,000			
売上高2		1,200,000	1,000,000				
売上高3		1,300,000	1,000,000				
売上高4		1,400,000	1,000,000				
売上高5		1,500,000	1,000,000				
売上高6		1,600,000	1,000,000				
売上高7		1,700,000	1,000,000				
売上高8		1,800,000	1,000,000				
売上高9		1,900,000	1,000,000				
他売上高		2,000,000	1,000,000				
現金売上			10,000,000	2,000,000			
売掛金回収							
受取手形期日落							

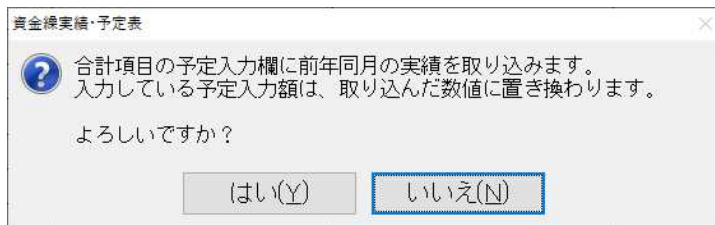
- ・対応前のプログラムで合計金額を入力している場合、明細金額は入力されていないため、実額入力で背景色を緑色にしています。金額（予定）を入力していない項目や、明細行がない項目に関しては、背景色は白色のままになります。
- ・「前年取込 [F9]」を実行したときの金額の不一致について上昇率を入力して前年取込を実行した場合、同じ上昇率を入力していても、明細・合計のそれぞれで計算を行うため、前期の実績金額によっては、明細と合計金額が一致しない場合があります。

(例) 円未満、切捨で実行

[科目]	[前年実績]	[上昇率]	[取り込みした予定金額]
売上高 1	456	10%	501
売上高 2	789	10%	867
現金売上	1,245	10%	1,369

(明細の合計金額 1,368)

- ・「前年取込 [F9]」を押下したときのメッセージについて「資金繰科目の明細を表示する」のチェックが OFF の場合、下記メッセージを表示します。「はい」を選択すると、合計項目の予定入力欄に前年同月の実績金額を取り込みします。



- ・「資金繰科目の明細を表示する」にチェックを付けた状態で、前年からの取込を行うと、予定欄の明細欄にも自動的に金額が取り込まれます。
- ・予定入力欄で、フォーカスは ENTER を押すと縦移動します。また、TAB を押すと横移動します。

2) 予算実績対比・推移表 (Pro II のみ)

① 予算実績対比表

- ・棚卸方法を「各月末残」にしたときに、製造原価の「期首材料」「期末材料」「期首仕掛品」「期末仕掛品」も月末残を表示するように対応しました。
- ・「棚卸残高繰越表示」チェックボックスを追加しました。棚卸方法で「各月末残」が選択されている場合に表示します。チェックを ON にした場合、2 か月目以降「期末〇〇」科目の前月末残を「期首〇〇」科目に出力します。



Ⅲ. グラフ (ProⅡのみ)

- 1) 売上関係図表
- 2) 前年実績比較推移グラフ
- 3) 損益分岐点図表
- 4) 科目別比較グラフ
- 5) 複合比較 (5 科目) グラフ
- 6) 部門対比 (5 科目) グラフ
- 7) 科目別比較推移 (予測) グラフ
- 8) 複合推移 (5 科目) グラフ
- 9) 部門対比推移グラフ
- 10) Zチャート
- 11) 経営内部透視図表 (レーダーチャート) ※
- 12) 業種別レーダーチャート ※
- 13) 前期対比レーダーチャート ※

①[F11 データ修正] 画面に表示しているガイドを以下のとおり変更しました。
※レーダーチャートの [F7 データ修正] は表示位置・フォントも変更しています。

[変更前] 設定を変更した場合、実額修正した数値は自動計算した数値に戻ります。
[変更後] **設定変更または業務終了時、実額値は自動計算値に戻ります。**

【参考】
売上関係図表

データ修正			
部 門			
グラフの種類	売上高関係図表		
処 理 月	10月度 [決修月]		
月	当 期 月 次 実 績	前 期 月 次 実 績	
11月	5,145,454	4,500,000	
12月	91,504,456	4,500,000	
1日		4,500,000	

設定変更または業務終了時、
実額値は自動計算値に戻ります。

14) 前期対比レーダーチャート

①F12 表示画面で、解像度 1920×1080 で必要のないスクロールバーが表示されていたり、「マルチウィンドウを有効」にしていると、数値表示部分が欠けて表示される場合があったのを、フォントを下げたり、不要な桁数の削減を行って、1画面に収まるように変更しました。

解像度 1024×768 で1画面に収まるようにしました。
前期、当期、増減の比率を整数7桁、小数点以下1桁にしました。
前年比を整数6桁、小数点以下1桁にしました。

※当対応に伴い、変更前の画面よりも小さくなります。(特に 1920×1080)

修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①科目設定で課税区分：不課税、科目属性：固定資産に設定されている科目（建設仮勘定など）を貸方にした不課税仕訳を、内税に変更し、仕訳区分を「譲渡」から「取得（相殺）」に変更すると、不課税に戻っていたので、不課税に戻らないように修正しました。

2) 元帳検索

- ①一括税抜き：総額方式マスターにおいて、固定資産売却益の課税仕訳（内税）がある場合に、仮受消費税の元帳で「一括税抜き仕訳の内訳」の金額と、「翌期への繰り越しの合計」の金額に誤差が出る場合があったので、下記のように計算を変更しました。

●計算方法の詳細

A：対価の金額

B：固定資産売却益の金額

・合計金額の計算

(A+B)の消費税額

・内訳の計算（従前の場合）

Aの消費税額 + Bの消費税額



左記計算方法により消費税額の端数計算で誤差が生じていたため、内訳の計算を合計金額の計算と同様に「(A+B)の消費税額」に変更しました。

●計算方法の変更により、金額に影響を受ける業務

- ・元帳検索
- ・残高問い合わせ（日指定時）
- ・科目日計（集計）表（日指定時）
- ・伝票発行
- ・総勘定元帳

※該当マスターは、当プログラムにより「マスター修復」を行ってください。

- ②仕訳修正タブを表示した状態で元帳検索を最小化し、仕訳入力で仕訳を追加後、タスクバーより元帳検索を開き、検索指定タブに戻ると、科目指定部分が消えていたのを修正しました。
- ③仕訳修正タブの貸借修正ダイアログにおいて、付箋のコメントに半角「%」があった場合、コメント入力欄を開くたびに、半角「%」の数が半分になっていたのを修正しました。
- ④諸口枝番名称を変更した場合にも、元帳検索では初期値の名称を表示していたため、変更後の諸口枝番名称を表示するように修正しました。
- ⑤確定仕訳時・仕訳移動時など仕訳に色が付く場合、998番目以降の仕訳の「差引残高」欄が全て白色で表示されていたので、「差引残高」欄に色が表示されるように修正しました。
- ⑥マルチウィンドウ有効時に、元帳検索にて「相手科目の科目コード：表示する」に設定していた場合、科目コードの表示が欠けていたのを修正しました。
- ⑦解像度 1920×1080（125%推奨）のノート PC 等で、文字が枠からはみ出したり、つぶれていたのを修正しました。
- ⑧科目設定で課税区分：不課税、科目属性：固定資産に設定されている科目（建設仮勘定など）を貸方にした不課税仕訳を、内税に変更し、仕訳区分を「譲渡」から「取得（相殺）」に変更すると、不課税に戻っていたので、不課税に戻らないように修正しました。

3) 残高問い合わせ

①枝番別比較残高一覧表において、前期に枝番残高の発生があり、前期残が0の枝番がある場合に、1ページ目の最終行が2ページ目にも表示されていたのを修正しました。

②比較残高タブで下記設定の場合に、前期、当期ともに発生の無い枝番があると、元帳への参照元がずれていたのを修正しました。

《設定》

- ・ 前期比較方法：発生比較
- ・ 残高・発生の無い枝番を出力する：OFF
- ・ 残高一覧で合計科目を出力する：ON

※上記条件の「残高一覧で合計科目を出力する：OFF」の場合、期首残高があり、前期、当期ともに発生の無い枝番が表示されていたのを修正しました。

4) 科目別日別残高表

①年間日別集計表で累計を選択した場合、画面表示では仕訳の発生があった日と残高がある日に金額が表示されているが、印刷又はプレビューを選択すると仕訳が発生した日しか残高が表示されず、仕訳が発生していない日には0と表示されていたため、累計選択時、残高がある日は、仕訳の発生が無くとも累計金額を表示するように修正しました。

また、月に関わらず31日まで残高が出力されていたのを、2月28日まで、4月は30日までと各月に応じて出力する日数を変更しました。

※画面表示は従来通りの表示となっています。

《例》

・ 1~2月、4~5月に毎日「現金/売上 10000」の仕訳を入力し、5月まで出力した場合

日付	2年 5月度	2年 4月度	2年 3月度	2年 2月度	2年 1月度
1日	910,000	610,000	600,000	320,000	10,000
2日	920,000	620,000	600,000	330,000	20,000
3日	930,000	630,000	600,000	340,000	30,000
4日	940,000	640,000	600,000	350,000	40,000
5日	950,000	650,000	600,000	360,000	50,000
6日	960,000	660,000	600,000	370,000	60,000
7日	970,000	670,000	600,000	380,000	70,000
8日	980,000	680,000	600,000	390,000	80,000
9日	990,000	690,000	600,000	400,000	90,000
10日	1,000,000	700,000	600,000	410,000	100,000
11日	1,010,000	710,000	600,000	420,000	110,000
12日	1,020,000	720,000	600,000	430,000	120,000
13日	1,030,000	730,000	600,000	440,000	130,000
14日	1,040,000	740,000	600,000	450,000	140,000
15日	1,050,000	750,000	600,000	460,000	150,000
16日	1,060,000	760,000	600,000	470,000	160,000
17日	1,070,000	770,000	600,000	480,000	170,000
18日	1,080,000	780,000	600,000	490,000	180,000
19日	1,090,000	790,000	600,000	500,000	190,000
20日	1,100,000	800,000	600,000	510,000	200,000
21日	1,110,000	810,000	600,000	520,000	210,000
22日	1,120,000	820,000	600,000	530,000	220,000
23日	1,130,000	830,000	600,000	540,000	230,000
24日	1,140,000	840,000	600,000	550,000	240,000
25日	1,150,000	850,000	600,000	560,000	250,000
26日	1,160,000	860,000	600,000	570,000	260,000
27日	1,170,000	870,000	600,000	580,000	270,000
28日	1,180,000	880,000	600,000	590,000	280,000
29日	1,190,000	890,000	600,000	600,000	290,000
30日	1,200,000	900,000	600,000		300,000
31日	1,210,000		600,000		310,000

仕訳の発生がない3月にも残高を表示しています。
また、2月30日等は空欄で表示しています。

5) 科目設定・残高登録

①残高登録の枝番残高登録タブで、Enterでカーソルを送ると、入力内容に間違いが無くとも警告音が鳴っていたのを修正しました。

II. 出力 (DX・Pro IIのみ)

1) 全般

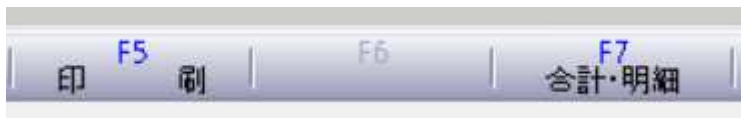
- ①部門入力が『行う』、通常配賦が『行う』、経理方式の既定が『税込』になっているマスターで、既定外の経理方式を選択して、試算表・分析表などの業務で出力を行おうとすると「配賦集計 通常配賦初期化中に障害が発生しました。通常配賦 総合計金額の集計中に障害が発生しました。」と表示されて出力できない不具合を修正しました。

2) 変動損益計算書

- ①ディスプレイ設定で、テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを「125%」に設定していると、会社選択一覧画面が大きく表示され、「選択 (ENTER)」「キャンセル (ESC)」等のボタンが見えていなかったのを修正しました。

4) 予算実績対比・推移表 (Pro IIのみ)

- ①ファンクションキーの「F6」の文字が消えていたのを修正しました。



III. 他出力 (Pro IIのみ)

1) 手形管理表

- ①「受取手形一覧表」「支払手形一覧表」で、出力順を「手形期日順」にした場合に、月末締め以外のマスターの場合、例えば6月20日締めであれば6月21日の手形期日が、6月計に集計されていたのを、7月分に集計されるように修正しました。

IV. グラフ (Pro IIのみ)

1) 全般

- ①部門入力が『行う』、通常配賦が『行う』、経理方式の既定が『税込』になっているマスターで、既定外の経理方式を選択して、売上関係図表などの業務で出力を行おうとすると「配賦集計 通常配賦初期化中に障害が発生しました。通常配賦 総合計金額の集計中に障害が発生しました。」と表示されて出力できない不具合を修正しました。

以上